

南高 同窓会会報

発行所
四日市市大字日永字岡山
三重県立四日市南高等学校
同窓会
TEL.059-345-3177
www.4nan.jp/dousou/



会長 早野憲一郎

ご挨拶

同窓会会員の皆さまには、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。昨年より同窓会長を務めさせていただいております。早野憲一郎です。皆さまには、日ごろから母校に対して多大なるご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昭和34年に開校した四日市南高等学校は、今日まで多くの卒業生を送り出してきました。今も全国でご活躍していらっしゃることを思います。

近年、SNSというインターネットを利用したコミュニケーション活動やネットワーク構築が盛んになってきました。このSNSを利用することで、世代や国境を越えた広い「つながり」を持つこと

ができます。その中でも同窓生の「つながり」があると聞いています。SNSを通じて各界で活躍している同窓生の姿をリアルタイムで知ることができ、面識のない同窓生ともつながることができるようです。とりわけ、同窓生の活躍というものは目に留まり、応援し

たくなるものです。若い世代の人にとつては、人生のロールモデルとなる人がぐっと広がったでしょう。現役で活躍している人にとつては、先輩として一層がんばろうという気になるでしょう。引退した世代の私たちにとつては、未来ある若者の活躍をうれしく思い応援したくなるでしょう。同窓生はいつもどこかで「つながり」を持っていることを胸に、皆さまがそれぞれの場所でご活躍されることを心から願っております。

最後になりましたが、会員の皆さまの今後一層のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げますと同時に、南高同窓会のさらなる発展に向けて、ご支援ならびにご協力をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。



学校長 鈴木達哉

ご挨拶

仕事柄、公務で外へ出ることが多いのですが、特に四日市市内で人に出会い、自分が四日市南高校の校長であると分かると、「私も南高出身で…」と声をかけられることが頻繁にあります(感覚的には自分がお会いする方々の3人に1人はそうではないかという印象です)。これは本校同窓生の方々が地域に根付き、地域のリーダーとして活躍されている証左であるとともに、登城ヶ丘で学んだこと

への誇りを感じていらっしゃる方が多いのだと思います。

私は本校に勤務してまだ2年と少いですが、日々、皆さんの後輩である南高生のポテンシャルの高さを実感しています。彼らの持つ優しさ、品性、誠実さなど素晴らしいと思いますし、一緒に学ぶことができていることを誇りにも思います。そんな彼らに対して我々がやらなければならないことは、単に3年後の大学等への進学を保証するだけでなく、21世紀に生きるための資質・能力を向上させ、将来にわたっても日本やこの地域のリーダーとして活躍できる若者に育てて行くことです。具体的に「進学校としてのキャリア教育」を推進し、①3年後(大学受験)、30年後(未来社会)に生き抜く力を育成する、②ひとり一人を大切にし誰も置き去りにしない、をスローガンに日々の教育を行っています。

そうは言うものの、これからの社会はもはや学校だけが教育を行う時代ではありません。毎年書くことですが、同じ志、「開拓者精神(Pioneer Spirit)」を持った同窓生の皆さんに後輩たちの教育に参画していただければ幸いです。そしてOBの方々に負けないくらい、いや、さらに大きく伸ばして日本やこの地域を背負っていきける大人に育てて行きたいと考えます。

先に「私も南高出身です」と声をかけられることが多いと書きましました。でも、この北勢地域で仕事をしているともっと不思議なことがあります。「私は南高ではないけど(子供は南高です)」(これはまだわかりませんが)とか、「兄が南高出身で…」とか極端になると「うちの2軒隣の子が南高へ通っていて…」とか、なんとか自分と南高を結びつける話をされる方が非常に多いのです。これは四日市南高校やそのOBたちがこの地域で愛されている証明ではないでしょうか。かく言う私も南高とはまだわずかに2年間のお付き合いですがすでに気持ちは「南高Love」です。



OB Lecture
OB講演会

2年生を対象に様々な職業の同窓生による講演会が行われました。

平成29年7月7日

三菱UFJリサーチ&コンサル
ディング株式会社

川村倫大氏(24期)

川村倫大さんには、「提案する力」経営コンサルタントという仕事」をテーマに講演して頂きました。

経営コンサルタントの仕事とは、「もっと良くなりたい」と思っている企業に対して、「提案」を通じてその思いを実現するお手伝いをするということとお話しに始まり、「ご自身が携わられた3つの企業を例に、どのように企業に関わり、「提案」を進めていくかについてお話し頂きました。

また最後に、「良い提案」には社会を活性化し、良い方向に変えていく力があり、どのような仕事に就くにしても、「提案」ができる人はポジティブに人生を送ることができるので、「提案」ができる人に



川村倫大氏

なって欲しいというメッセージを頂きました。生徒達にとって、普段あまり身近に感じる事のないコンサルタントという仕事について知る良い機会となりました。

三重県工業研究所

松岡敏生氏(26期)

「人間工学」をテーマにご自身の仕事内容をふまえて講演して頂きました。

まずは、現在の『研究員』としての職業について。新商品開発などのお手伝いをするのが工業研究所の仕事。研究をしたい人は、国の研究所など、世界を相手に研究に没頭できる場所もある。就職先を考える参考にしてみてほしい。続いて、人間工学の考え方について。人は必ず失敗することを前提に、失敗しても安全なものをつくること、また、誤操作をさせないようにうまく導く方法や環境を



松岡敏生氏

つくるのが、人間工学が生かされたものづくりである。

最後に、「大学は入口です。大学を卒業してからのほうがずっと長い。卒業後、自分が専門とすることのできるものをみつける努力をしてほしい。そして、ぜひそのスキルをいかせる職業についてください。」と締めくくられ、講演を終了しました。

日本旅行株式会社

曾根尚次氏(26期)

日本旅行株式会社でご活躍されている曾根さんから「10000円の旅行と100万円の旅行」というテーマでお話を頂きました。

まず、旅行会社の仕事内容について紹介を下さいました。いい旅を作るためには顧客の「だれと行くのか」「何をしに行くのか」といった様々な希望に耳を傾けることが大切だという話をして頂き、また曾根さん自身の南高時代の思い出も交えながら、「なぜ旅行会社に入ったのか」というお話も頂きました。

次に「10000円の旅行」と「100万円の旅行」のプランを生徒たちが考えました。「10000円で山に登ろう」や「100万円の日本一周旅行」などと案があたり、大変盛り上がる活動となりました。生徒たちの意見を踏まえ、曾根さんからは、安くても顧客に

よっては非常に満足のいく旅行になるのだということ、顧客の希望に合うかどうかを考えることがとても大切だと教えて頂きました。

三重県水産研究所

竹内泰介氏(31期)

竹内さんには「海に関わる仕事」というテーマでお話しして頂きました。

初めに三重県水産研究所での仕事内容は資源管理や密漁者の取り締まりなど多岐にわたることや、研究員も勤め先によって目的が違うことについて触れた上で「お金になる研究ではなく役に立つ研究」をしたいという思いから、行政のお仕事を選ばれたことをお話して頂きました。

次に、現在に至るまでの経緯について詳しくお聞きすることができました。高校や大学の時に取り組んでいたことや、大学卒業後に将来のことで自問自答した経験を詳しく話して頂いたので、生徒たちも真剣に聞き入っていました。その中でも、中学生の時に出会った一冊の本がきっかけで大学を決めた体験談から「とりあえず目標を決めて目標に向かって取り組みこと」の大切さを繰り返しお話ししていました。

ジブラルタル生命保険株式会社

林 尚弥氏(40期)

本校理数科に入学し勉強するも、

理系学部の受験当日に「これは自分のやりたいことではない」と思い立ち、急ぎよ文転するという驚きのエピソードから始まり、法律事務所のパラリーガル(法律関係の事務専門職)を経て保険会社での今のお仕事につかれるまでのお話を通して、「一人一人が自分の人生の主人公である。悔いの残らない生き方をしてほしい。」というメッセージを伝えてくださいました。

将来になりたい職業は少しずつ変わっていくものであるが、常に夢を持ち、無理かと思うことでも一歩踏み出してやってみる勇氣を持つてほしいという言葉は、まさにご自身の体験から出たものだと納得しました。

最後に、「22、23歳の自分がどんな職業についていたいか」という「目標設定」をしてみることを勧めてくださいました。この夏生徒たちはこの言葉を胸にオープンキャンパスに参加することでしょう。



林 尚弥氏

教育実習

今年も教育実習が行われました。第53期生の方々に感想をお聞きしました。

金原大輝(数学) 53期

教育実習の3週間を終えて私が一番印象に残ったことは、生徒から学ぶことがたくさんあったことです。それは、自分が本音でぶつかったら生徒も本音で返してくれることです。生徒の名前を呼び、話しかけると生徒は必ず返してくれました。

高校生のときとは違う、先生と生徒の会話をすることができました。冗談を言い合ったり、時には真剣な話をしたり、数学の話をしたりなど、本当に色々な話をしました。様々な価値観を持っていて興味深かったです。3週間、生徒と関わった時間は自分のこれからの人生に大きく影響すると思います。南高の先生方、2・1のみんな本当にありがとうございます。

城 大悟(数学) 53期

2週間の実習で、本当にあつという間に時間が過ぎて行ったように感じました。最初の1週間は、主にいろいろな先生方の授業を見学させていただきました。講義形式で授業を行う先生や、グループ

を作って授業を行う先生もいて、それぞれの形式の良さや工夫を盛ることができたと思います。

後半の1週間は主に授業をさせていただきました。うまく授業ができなくて落ち込むこともあったけど、自分の直すべきところや工夫するべきところを見つけることができ、貴重な体験をさせていただいたと思います。

西田昂平(音楽) 53期

私は今回の教育実習で音楽の教科を担当させていただき、自分の思っていることを生徒に伝えることの難しさを実感しました。教科上、どうしても感覚的な部分を伝える必要があるため、その感覚を如何に生徒に分かりやすいように伝えるかということが実際に授業をさせていただく中で最も苦労した部分でした。

今回の実習では主に歌を取り上げたのですが、どのような言葉で示したら生徒が自発的に歌声を出すようになるかという点で様々な試みをさせていただきました。この経験を将来に生かすことができよう精進します。

中村 皓(数学) 53期

母校での教育実習はとても楽しみでしたが、初日、どうやって生徒たちと関わろうか、42人の生徒の前で上手く話すことができるか、不安でした。実際に実習が始まると、分からないことが多く、悩むこともありました。しかし、手が震えている僕の授業でも一生懸命聴こうとしてくれる生徒たちの温かい心に支えられて、本当に充実した3週間を送ることができました。

今回の授業では、大学の授業では学ぶことができないことを、たくさん体験し、習得することができました。学んだことを活かして、教員になれるよう頑張ります。

長谷部 悠(英語) 53期

実習が始まった頃は、生徒と打ち解けられるだろうかという不安がありました。しかし徐々に授業やHRでの関わりを通して生徒からも話しかけてくれるようになり、とても嬉しかったです。

三週間という短い期間でしたが、HRや担当させていただいた教科の授業以外にも、体育祭といった行事など様々な場面の経験をさせていただきました。大変勉強になりました。ぜひ、この経験を今後活かしていきたいと思っています。ありがとうございます。

ございました。

福田みち乃(保健体育) 53期

教育実習で、3週間保健体育を担当させていただきました。3週間は自分が思っていたより短くあつという間に感じました。授業では、自分の思うように伝えることができず、うまくいかないことも多くありました。その時に指導教諭の先生から指導していただくことで、授業に手応えを感じられるようになりました。

この教育実習を通して、生徒と実際に接し、教職に進みたいという思いがより強くなったことが、1番良かったことではないかと感じています。貴重な経験になりました。ありがとうございます。

林祐一郎(世界史) 53期

今回の教育実習では、何度も一喜一憂を繰り返しました。教室で机の前に座って授業を聞いている生徒から、教卓で生徒に対して語り掛ける先生の立場となりましたが、ここまで複雑な思考を様々な面で要求されるとは思いつておりませんでした。

満身創痍となりましたが、初日から授業を持たせて頂いた経験は糧となりました。特に、授業というものが生徒たちの支えを前提として成り立っていることを学べたのは最も価値ある学びでした。これまでの経験は是非とも役立てていきます。



上段(左から)
林祐一郎(世界史)、長谷部悠(英語)、中村皓(数学)、金原大輝(数学)、城大悟(数学)、西田昂平(音楽)
下段(左から)
山田芽衣(保健体育)、福田みち乃(保健体育)、岡山太郎(保健体育)、花谷晋(保険体育)

これから教育実習を希望される予定の皆さんへ

教育実習の申し込み期間は、実習年度の前年の4月10日から5月15日です。その間の平日に、事前に総務部と連絡を取り、本人が直接来校して手続きをしてください。

躍進する部活動

卓球部

本年度、男子は高校総体団体の部で、4位に入賞しました。三年山本はシングルス9位、三年岡田と組んだダブルスで5位に入賞しました。



卓球部

また、山本は昨年度の高校選抜大会のシングルス2部に県代表として出場しました。女子も、昨年度の新人戦団体の部で4位に入賞しました。

選手達は、短い時間の中、一生懸命練習に励んでいます。



陸上競技部

電算無線部

電算無線部は、今年度、3年生5名、2年生3名、1年生7名の計15名で活動しています。

毎週水曜日に情報室に集まり、2〜3年生は、映像編集、プログラミングなど、1年生は、WORD、Excelの基本を学んでおり、1年生の希望者は木曜日も自主練習として、WORD、Excelの練習問題に取り組んでいます。

硬式テニス部

今年度の高校総体・団体戦は、男子は二回戦敗退、女子は一回戦敗退という、残念な結果となりました。

新たに1年生が20名加わり、心機一転 男女とも次の試合に向けて元氣よく動き出しました。少ない練習時間ですが、上位入賞を目標にさらに努力を続けていきたいと思えます。ご支援よろしくお願いたします。

陸上競技部

今年も多くの新入生が入部し、現在は男女合わ

せて約45名の部員で活動しています。5月末に開催された県高校総体では生徒たちがよく頑張り、女子やり投げが5位、女子3000mが7位に入賞しました。

さらに女子やり投げにおいては東海大会においても5位に入賞し、見事全国大会出場を果たしました。8月に山形県で開催される全国大会に出場する白木ひかるさんの更なる飛躍を祈りたいと思います。

他の部員も最後まであきらめずに粘り強く競技し、好記録を出してくれました。3年生のほとんどは引退しましたが、1・2年生がそれぞれの目標に向かって意欲的に活動しています。

今後は、秋の新人大会や駅伝大会において一人でも多くの部員が自己記録を更新し、東海大会出場を果たせるよう精進していきたいと存じます。

イラスト部

イラスト部は、現在、7名の部員で活動しています。活動内容としては、年間2回、9月と1月に部誌(イラスト原画集)を発行し、南高祭では、原画を展示しています。

また、2月には、3年生の卒業記念に手作りのイラスト集を作っています。3月には新入生歓迎会のカラーイラスト集を作る予定です。

インターアクト部

インターアクト部は、現在8名の部員で「人のため、世のためになる社会貢献活動」をスローガンに校内外のボランティア活動を行っています。昨年度は、被災地宮城県を訪問したり、「四日市まちづくり」イベントに参加しました。それ以外にも毎年、「日永つんつく祭り」や地域防災活動、西日野駅への花プランター設置、四日市あすなろう鉄道を応援する取り組み、校内の環境美化(校舎のペンキ塗り)活動を行っています。このような活動を通して、人間性や社会性を磨いています。

これからも積極的にボランティア活動に参画し、自己実現と共に社会のお役に立てればと思っています。

バドミントン部

初心者でも楽しむことのできるバドミントンですが、やり始めると奥が深く、知れば知るほど魅力的なスポーツです。

今年度は男子が19名、女子が27名で日々基礎体力や技術の向上に努めています。

大会で結果を出せるように頑張っておりますので、ご支援よろしくお願いたします。

ハンドボール部

現在部員は、男子24名、女子24名、計48名で活動をしています。

限られた時間と場所と効率よく質の高い練習をきびきびと行い、なおかつ元氣よく声を出し楽しんでプレーすることを心がけています。今年度の高校総体は男女とも五位入賞という結果を残せました。来年は三重県でインターハイが開催されるので、出場をめざして努力し続けたいと思います。ご支援よろしくお願いいたします。

ワンダーフォーゲル部

2年男子2名、1年男子2名、2年女子4名の計8名が在籍しています。昨年度は夏合宿で北アルプス立山に、冬のスキーはホワイトピアに行きました。

今後も、「楽しく安全に」を心がけ、活動していきたいと思っております。

演劇部

今年度は8名の新入部員を迎え、2年生と併せて22名で活動を開始しました。

5月恒例のミニ劇では、2年生の指導により新入部員の隠れた持ち味を引き出すことに成功しました。このミニ劇には、引退した3年生も参加され、駄目出しなどで

ご指導くださいました。今後とも演劇部の活動のご支援をよろしくお願い申し上げます。

音楽部

昨年に引き続き、今年度も11名の有望な1年生が入部しました。昨年から週末練習ではOBの皆様にもお力を借りながら、技術向上と美しいハーモニーの追求をしています。

合唱祭、発声講習会、合唱コンクール、第九、アンコンと、今年も益々意欲的に活動しています。

吹奏楽部

3月30日に開催させていただきました第29回定期演奏会には、約1400人のお客様においでいただきました。多くの先輩方のご協力により無事終了することができました。ありがとうございました。本年度、29名の新入部員を迎え、部員一同、コンクールやコンテストでベストを尽くし、豊かな音楽を奏でたいと思います。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、平成30年3月25日(日)鈴鹿市民会館にて、第30回定期演奏会を開催します。こちらもよろしくお願い申し上げます。

水泳部

本校のプールが使用できない

め、部員は各自スイミングスクール等で県大会に向けて、練習しています。

今年度は新たに1名の1年生新入部員(男子1名)を迎え、選手8名でスタートしました。現在、個人種目と女子のリレーで東海大会へ出場できるよう頑張っており、ご支援よろしくお願いいたします。

茶道部

今年度は1年7名、2年12名、3年12名の計31名で活動しています。毎週水曜日の放課後、作法室で講師の羽木千松先生に表千家のお点前をご指導いただいております。

毎年南高祭では浴衣姿で立礼棚を用いた茶席を設け、おもてなしをしています。普段は作法室の畳席でお稽古していますが、正座の苦手な方でも気軽に一服していただけるよう椅子席にしております。部員たちの日頃の成果を是非見に来てください。

文芸部

部員数は7名です。普段の活動としては、個々に創作活動を行う以外に、ビブリオバトルや部誌作成に取り組むなど、自分たちで活動内容を考え、主体的に活動しています。

また、県内の文芸部員との交流

会や講演会、創作学習会に参加するなど、校外での活動にも積極的に参加しています。今年度も南高祭では部誌を配布、展示予定です。

放送映画部

今年度は3年生3名で活動しています。主な活動内容は、体育祭(6月)での実況放送や文化祭(9月)での作品展示です。一昨年度昨年度と中学生学校見学会(11月)において、放送映画部で作成した南高紹介映像を上映しました。パソコンを使って静止画や動画を編集するなど、いろいろな技術を学びながら取り組んでいます。

箏曲部

3年生12名、2年生14名、1

年生17名の計43名で、生田流正派大師範の森雅笙先生の熱心な指導の下、週に三回程度練習しています。

昨年度夏に行われた「三重県高等学校日本音楽演奏会」において優勝し、今年7月31日から行われる第41回全国高等学校総合文化祭宮城大会に出場します。

今年度は、8月5日(土)に白山総合文化センター(しらすぎホール)で県大会が行われます。6連覇を目指して練習に励んでおります。大勢での合奏は息を合わせるのが大変ですが、日頃の練習の成果が発揮できるよう、頑張っております。

応援のほどよろしくお願い申し上げます。



文芸部



箏曲部

ご注意ください

同窓会名鑑を作成するという名目で、調査ハガキが多く同窓会員に郵送されており、往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありませんのでご注意ください。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

進路状況

本年度の卒業生数は、8クラス（内、数理コース2クラス）の合計311名でした。進学者数は277名で、全体の89.1%が進学しました。その

他は就職1、進学待機33名です。数理コースは卒業生の67.5%が国立大学に、23.8%が私立大学に進学しています。学年全体の国立大学進学者の42.9%が数理コースで占められています。

現役生の国立大学延べ受験者数は357名、合格者数は143名、入学者数は126名です。合格率は40.1%（入学率は88.1%）で、国立4年制大学の現役生と過年度生の合計合格者数は157名でした。

今年度卒業生の主な国立大学合格校は、難関大では京都大（1）、名古屋大（7）、北海道大（1）、神戸大（1）。次いで、金沢大（6）、名古屋工業大（10）、広島大（1）、東京学芸大（2）、大阪教育大（1）、愛知教育大（3）、三重大（28）、岐阜大（4）、信州大（5）、静岡大（7）、滋賀大（1）、奈良女子大（1）、となっています。また、主な国立大学合格校は、岐阜薬科大（1）、首都大東京（1）、横浜市立大（1）、名古屋市立大（5）、京都府立大（1）、大阪市

立大（1）、愛知県立大（3）、三重県立看護大（8）、となっています。

学部別の特徴では、「工学」の合格率比率が28.0%（昨年32.0%）と最も多く、例年のことながら本校の大きな特徴となっています。次いで「教育」が14.7%（昨年13.6%）、「文学・言語・国際・文化」が13.3%（昨年14.4%）と昨年と逆転しました。少子化や0免過程廃止の影響を受けて志願者が減少している「教育」で合格者が多いのも、本校の大きな特徴といえます。さらに、「経済・経営・商学」10.5%（昨年8%）、と文系学部が続きます。

全国的には、理高文低から文高理低へシフトして3年目となりますが、本校では従来より文系学部への人気が根強く、今年もその傾向が見られました。次いで「農林畜産・生物・生命・環境」9.8%（昨年6.4%）、「看護」8.4%（昨年5%未満）となっています。看護系の合格者が大きく伸び、昨年72%を占めた「政策・政治・法律」は今

年0.7%と大幅に減少しました。私立大学に比べて国立大学は、教育、就職環境に優れているため、多くの生徒が全国を視野に

入れて出願を行っています。今年度は、センター試験受験者数は前年と変わりませんでした。国立大学への述べ受験者数が54名増加し、合格者数の増加につながりました。本校生徒は、全国的視野を持ち前期日程から幅広く志望校を考え、中・後期日程においても2次学力を考慮しながら慎重な出願を行いました。卒業式を終えた後も小論文指導や面接指導などの2次対策に登校し、最後まであきらめず中・後期日程まで粘り強く受験することで合格を得られた生徒も多くいました。

私立4年制大学の延べ受験校数は1593校、受験者数は285名でした。平均併願校数は1593/285=5.59校（昨年5.99校）と2年連続で減少しました。受験形態別にみると、一般入試型の受験数は延べ963校（昨年延べ1156校）と4桁を割り込み昨年より193校減少しました。

一方センター型の受験数は延べ540校（昨年555校）と昨年とほとんど変わらず、センター型利用率の上昇が見られました。なお、一般入試型にはセンター併用型も含まれており、その数はおよそ150校です。延べ受験校数1593校中何らかの形でセンターを利用しているものは、およそ690校、43.5%と高い割合を示しています。各大学が

センターを利用した受験方式や併願パターンを多様化させており、受験料の割引や、減額制度も拡大させています。

受験述べ1593校中の総合合格数は701校であり、合格率は701/1593=44%でした。全合格数に占める学部別の割合を見ると、「工学」が21.0%と最も多く、「文学・言語・国際・文化」の19.8%とほぼ並んでトップに立ちました。ここ数年、本校では年度によって入れ替わることはありますが、この2つの系統が上位2位を占めています。次いで「経済・経営・商」12.3%が第3位となっています。景気回復や就職状況の改善を背景にした全国的な「文高理低」傾向がここ3年続いています。特に今年はこの系統の人氣が高かったようです。

次に「農林畜産・生物・生命・環境」(9.0%)、「教育」(8.8%)、「看護」(6.6%)と続いています。「教育」、「看護」は昨年より3%強増加しており、本校生の社会貢献に対する強い意思が伺えます。さらに、「政治・法」(5.8%)、「理学」(4.4%)、「家政」(3.6%)、「医療」(2.9%)と文系、理系が入り乱れる形となりました。

合格数の最も多かった「工学」系の大学別合格数を見てみると、名城大が37と最も多く、次いで愛

知工業大20、大同大20、南山10、中部大10と中部圏の大学が続いています。中部圏以外で例年合格数が多い立命館大は今年9件の合格がありました。昨年16件合格があった中京大は、今年わずか3件と数を減らしています。

次に「文学・言語・国際・文化」系の大学別合格数を見てみると、中京大34件が最も多く、次いで南山大14、名古屋外国語大14、愛知淑徳大13となりませんが、中部圏以外の立命館大が13件と愛知淑徳大と並んでいます。さらに愛知学院大9、金城学院大8、愛知大7、名古屋学院大5と再び中部圏の大学が続きます。

大学別の受験件数（1人が同じ大学を複数受けている場合も全て数える）をみると、中部圏では名城大220件（昨年253）が最も多く2年連続でトップとなりました。2位は中京大の179件（昨年205）、次いで名古屋外国語大129件（昨年96）、南山大100件（昨年129）、中部大76件（昨年88）、愛知淑徳大73件（昨年61）、愛知大72件（昨年60）となっています。関西圏では立命館大91件（昨年91）のみが30件を超え、同志社大27件（昨年28）、関西大25件（昨年31）、関西学院大24件（昨年11）、近畿大22件（昨年44）と続いています。

平成29年度 四日市南高校全体同窓会



ジャズピアニスト 伊藤有紀子 (26期生)

【日時】 平成29年 8月12日 (土)

午後3時より

【会場】 四日市都ホテル 3F 朝明の間

■今年度の幹事は26期生が務めます。

現在、ジャズピアニストとして活躍をされている、卒業生の伊藤有紀子さんの演奏もお聴き頂けます。

懐かしい先生方もゲストとしてお招きする予定です。ご出席をよろしくお願ひします。

■第一部 総会

■第二部 懇親会

(会費 社会人2,000円、学生無料)

【第26期生同窓会】

日時：平成29年 8月12日 (土) 18:30～

会場：ロフレ21四日市 (四日市市川原町18-8) TEL.059-333-1111

第9回 四日市南高校東京同窓会

【日時】 平成29年10月7日 (土)

【会場】 日本橋三重テラス

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-4-1

TEL. 03-5542-1030

■16時受付開始

■16時30分より スペシャルトーク

■17時より 懇親会

■会費6,000円 (学割3,000円)

■関東圏にお住まい、関東圏で仕事する、南高OB・OGの集いです。毎年、学年を越えて南高の想い出を語り合っています。本当に楽しいひとときを過ごしていますので、ぜひご参加下さい。

【お申込み方法】

四日市南高校同窓会HP、第9回四日市南高校東京同窓会の参加申し込みフォーマットよりお申込みください。

【問い合わせ先】

四日市南高校同窓会理事14期生 山路みのる までお願いします。
TEL.090-3255-2644

同窓会役員名簿

【同窓会役員】

会 長	早野憲一郎	(6期)
副 会 長	川島茂樹	(7期)
	山路 熟	(14期)
書 記	大日方敏之	(15期)
	水谷正美	(23期)
会 計	小柳秀樹	(20期)
	川村公博	(25期)
監 事	浦田 治	(19期)
	石原正敬	(29期)
理 事	矢田 智	(5期)

【学校側】

顧 問	鈴木達哉	学校長
特別会員	伊藤明日奈	教諭
	稲垣良二	〃
	川崎千佳子	〃
	小林 仁	〃
	鈴木正司	〃
	西 綾	〃
	服部圭一	〃
	廣田育男	〃
	藤端千絵	〃
	藤波 厚	〃
	村野玉紀	〃

【連絡先】

〒510-8562 四日市市大字日永字岡山4917
三重県立四日市南高等学校同窓会事務局
TEL.059-345-3177・3178 FAX.059-345-9549
http://www.4nan.jp/dousou/ E-mail ds@4nan.jp

第5回 四日市南高校同窓会ゴルフ大会のご案内

【日時】 平成29年10月17日 (火)

【場所】 名四カントリークラブ 四日市市山之一色町1760

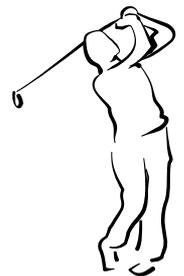
※詳細は四日市南高校同窓会ホームページに掲載します。

【お申し込み方法】

四日市南高校同窓会HPより第5回ゴルフ大会の申込み用紙(PDF)をプリントアウトし、FAX (059-359-3021)でお申し込みください。同学年3名そろえば、学年対抗戦にも参加できます。

【お問い合わせ先】

四日市南高校同窓会理事14期生 山路みのる までお願いします。
TEL.090-3255-2644



事務	英語	保体	数学	国語	【転入】	事務	英語	保体	数学	国語	【転出先】
白木直美	加藤慎治	牧野友博	津田憲成	鈴木遙香	山出 諭	佐藤三重	田中彰彦	加藤敬三	浅原逸子	川原田智子	名張高校
児童相談センター	桑名高校	南伊勢高校	いなべ総合学園高校	新規採用	【前任校等】	健康福祉部	四日市西高校	四日市西高校	あけぼの学園高校		

【退職】	英語	西畑 光
------	----	------

教職員異動

平成二十九年(敬称略)